L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼（仏語）】

2013 年 8 月号

花巻クラブジュニア OB の齊藤凌選手が世界ユース選手権で大活躍！花巻から世界へ羽ばたく選手が増えると嬉しいですね！

中学生が熱く燃える夏☆男子・松園、女子・見前がＶ！

　初夏、中学生にとっての正念場が早くも来た！去る 7 月 19 日～22 日、盛岡市アイスアリーナ並びに滝沢村の岩手産業文化センター（アピオ）にて、第 60 回岩手県中総体が開催されました。参院選のため盛岡市体育館が使用できず、20 年ぶりにアピオでの開催となった試合。慣れないコートに苦戦しながらも、それを感じさせない一生懸命なプレーで、中学生ハンドボーラーが会場を沸かせました！

＜男子＞　花巻北中は大宮中との初戦。前半は 1 点ビハインドでしたが後半加点できず、16－13 で残念ながら初戦敗退。花巻中は厨川中との緒戦。花巻中は先制するもその後は厨川中にリードを許し、追いかける展開のまま後半へ。DF からの速攻で得点を狙いますが、サイドシュートが決まらず波に乗ることができません。最後はオールコートマンツーマン DF で逆転を狙いますが、2 点差でタイムアップ。花巻勢は両校とも初日で姿を消すという残念な結果でした。混戦の中、矢巾北中と矢巾中の矢巾町対決が、そして盛岡市中総体で決勝を戦った松園中と城西中の再戦が準決勝の舞台で実現しました。春の全国大会に出場した矢巾北中がその経験値を発揮するかと思われましたが、DF から速攻で得点を重ねた矢巾中が固い DF から速攻で徐々に突き放し、矢巾町対決を制しました。一方、地区大会の再戦となったカードは、関根拓選手を中心に力強い OF を展開した松園中が終盤主導権を握り、24－21 で城西中のリベンジを阻止しました。その松園中は決勝戦でも矢巾中に一歩も譲らず、前半を 7 点差リードで終えます。終盤矢巾中は佐藤慎和選手を司令塔につけ、怒涛の追い上げをみせますが、松園中がリードをキープし、3 年ぶりに県の頂点に立ちました。

＜女子＞　盛岡地区大会でも女王となった見前中に、矢巾勢がどのように対抗するか注目が集まった今大会。その見前中と初戦を戦った花巻中は、前半必死に食らいつきますが後半一気に点差を離され、23－12 で敗れ初陣を飾ることができませんでした。花巻北中は、紫波一中との初戦を勝利で飾りましたが、続く大宮中戦を僅差でものにすることができず、ベスト 8 で今大会を終えました。花巻北中女子部創立から 3 年目、ようやく 3 年生となって試合に臨んだ結果は頂点に届きませんでしたが、これから後輩たちが上位入賞を目指して頑張ってくれるものと思います！そのチームを率いた森田芽吹選手は、大会優秀選手に選ばれました。さて、見前中、矢巾中、大宮中、そして松園中が準決勝に進出。見前中は松園中とのロースコア対決を制し、新人戦に続く決勝戦へ勝ち進みます。矢巾中は、藤原ちひろ選手が豪快なシュートと多彩なパスワークでゲームをコントロールし、危なげなく最終ステージへ駒を進めます。決勝は、終始一進一退の攻防が続きますが、肝心な場面で矢巾中のノーマークシュートを佐藤茉琳 GK がことごとくセーブし、それが最終的な点差となって表れました。16－12 で勝利した見前中が、昨年度の大会に続き 2 連覇を果たしました。

大先輩たちも元気！全日本マスターズ大会 IN 花巻！台湾の小学校と素敵な国際親善試合☆

　往年のハンドボールラバーズが花巻に集う！全国高校選抜の連続開催から約 1 年半、また花巻の地に全国大会が戻って参りました。第 21 回全日本マスターズ大会は、8 月 2 日～4 日まで、花巻市総合体育館ならびに日居城野

グラウンドを会場に開催されました。かつて日本リーグで活躍した選手たちをはじめ、ハンドボールを愛してやまない大先輩たちが一同に会し、和気藹々と試合を楽しみました。なんと今回は、復興支援への感謝を表し、台湾からもチームが参加してくれました！残念ながら男子チームは来られませんでしたが、一般女子チームと、新北市中和区の台湾復興国民小学校のハンドボール部のみなさんも来日し、花巻クラブジュニア、矢巾フェニックスの2つの少年団と、初の国際親善試合に臨みました！ユニフォームの「復興」の2文字、まさに運命を感じた出会いでした。

8月2日は日居城野グラウンドにて11人制ハンドボールの試合が行われました。前日まで連日の梅雨空だったにも関わらず、皆さんの熱気のおかげで快晴の空！台北女子チームも加わり、みんな笑顔で縦横無尽に芝生のグラウンドを駆け回っていました！この日会場にいた私編集長は、一日で真っ赤に日焼けしました･･･。その後行われた開会式では、台湾チームの紹介に続き、台湾復興国民小学校の皆さんが素敵なダンス体操を披露してくれました。

8月3日は、マスターズの熱戦と平行して、小学生同士の交流が行われました。まず、歓迎のパフォーマンスとして紫波総合高校の郷土芸能部の皆さんが「さんさ踊り」を披露し、その後、日本と台湾の小学生も加わって輪踊りに挑戦しました。和やかな雰囲気の中、続くスペシャル企画としてオリンピアンのトークショーが開催されました。出演して下さったのは1988年ソウル五輪に出場した首藤信一さん（盛岡市出身）と宮下和広さん。また元全日本女子主将で現在富士大学所属の佐久川ひとみさんがゲストとして登場し、さらに今回選手として出場している俳優の西村和彦さんがMCとして会場を盛り上げてくれました！最後には、風船を割ってグッズが当たる大抽選会が行われ、子どもたちも大喜びでした。

さて、いよいよ小学生同士初となる国際親善試合がスタート！台湾復興国民小学校のハンドボール部は30年以上の歴史があり、男女とも台湾の全国大会第2位という成績を残しています。結果はというと、残念ながら岩手の少年団とは大きな力の差があり、日本代表（？）の惨敗でした。非常に個々の能力が高く、フィジカルも強くて、一度当たられてもあきらめずにDF突破を狙ってくる貪欲さに歯が立ちませんでした。とはいえ同じ小学生。岩手の小学生ももっと強くなって、また試合ができればいいですね！

翌日、復興小学校チームは花巻市民体育館に場所を移し、花巻中･花巻北中との交流試合を行いました。男子は2号球でプレーしたのですが、全く引けをとらない試合ぶりでした。1･2年生の新チームに3年生も途中出場し、なんとか日本の中学生の意地を見せた感じでした。本当に素晴らしい試合で、台湾第2位のチームの実力を肌で感じることができました。閉会式では、花巻中ハンド部が合唱と応援エールをプレゼントすると、復興小学校は森山直太朗の「桜」をお返しに披露。サビの部分からは日本語での合唱となり、会場は感動の渦に巻き込まれました。

スポーツを通じた国際交流、本当にいいものですね。またいつかこのような国際親善試合を開催することができれば嬉しいですね。今回このような企画の実現にご尽力いただいた方々、台湾復興国民小学校関係者の皆様に心から感謝申しあげます。ありがとうございました！

L'aile d'Howl（ライル･ドウル）
2013年8月号
2013年8月25日　発行
発行：花巻市ハンドボール協会